

2024年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものです。

2024年度は、塾長賞に1件1名が、塾長奨励賞に2件7名が選ばれ、3月に三田キャンパスにおいて表彰されました。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長 学生総合センター長・法学部教授 田上雅徳たのうえ まさのり

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動など、正課以外の幅広い分野において、めざましい業績を挙げた塾生を表彰するものです。表彰の基準は、その業績が「慶應義塾の存在自体の光輝となるもの」かどうかという点に置かれています。

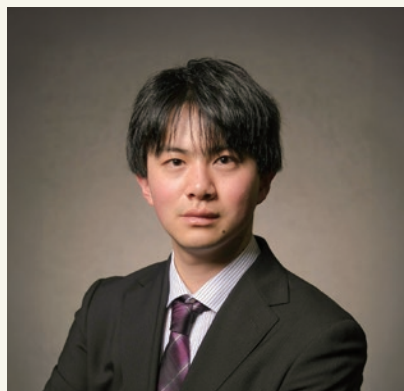
2024年度は7件が推薦され、慎重な選考の結果、1件1名が塾長賞、2件7名が塾長奨励賞の栄誉に輝きました。

塾長賞に選ばれた田村友宏君(医学部6年)は、19th Undergraduate Student Caucus and Poster Competition (USCPC)において、欧州・アジアの大学で唯一Honorable Mention for Meritorious Scientific Posterを受賞しました。また、採択率3%のOral Talkでも田村君の研究成果が取り上げられています。これらの顕著な業績は、慶應義塾の誇りとするところで、塾長奨励賞に選ばれた将棋研究会は、楽待杯第39回全国オール学生将棋選手権戦(団体戦)に出場し、優勝の成績を収めました。慶應義塾としての団体優勝は実に20年ぶりとなります。同じく塾長奨励賞に選ばれた大東美羽君(法学部3年)は、第74回全日本学生法律討論会に出場し、質問の部第1位、立論の部第3位の成績を収めました。大東君の業績は、持ち前の法的素養とたゆまぬ研鑽の賜物といえましょう。いずれの業績も個性にあふれ、卓越しており、先に示した表彰基準を十分に満たすものです。

塾生諸君には、大学生活、またその後の人生をより豊かなものとするべく、今回の受賞者に続いて、学業以外の分野においても自己を磨き、さまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることを期待しています。

塾長賞

19th Undergraduate Student Caucus and Poster Competition (USC&PC)において、Honorable Mention for Meritorious Scientific Posterを受賞
採択率3%のOral Talkに筆頭演題が採択



医学部 6年
田村友宏君

19th Undergraduate Student Caucus and Poster Competition (USC&PC)において、欧州・アジアの大学で唯一Honorable Mention for Meritorious Scientific Posterを受賞しました。また、採択率3%のOral Talkに筆頭演題が採択されました。それらの業績は同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところです。

「ご指導いただいた義塾の皆様、支えてくれた故郷の家族、共に歩むと決断してくれた妻に、心から感謝しています。最高の6年間でした。腫瘍医学の発展にこの生涯を捧げます」

塾長奨励賞

楽待杯第39回全国オール学生将棋選手権戦(団体戦) 優勝



将棋研究会 商学部3年 石野熙君「代表」 経済学部2年 鈴木諒君

経済学部1年 荒木航君 商学部1年 堀内健世君

理工学部1年 嶋村拓夢君 薬学部1年 山口桃李君

楽待杯第39回全国オール学生将棋選手権戦(団体戦)に出場し、慶應義塾として20年ぶりの団体優勝の成績を収め、高く評価されました。その顕著な業績は慶應義塾の誇りとするところです。

「このたびは名誉ある賞を賜り、誠に光栄に存じます。日頃より支えてくださる皆様に心より感謝申し上げます。今回の受賞に慢心せず、なお一層精進してまいります」

第74回全日本学生法律討論会 質問の部第1位、立論の部第3位

法学部3年 おおつかみう
大東美羽君

第74回全日本学生法律討論会に出場し、質問の部第1位および立論の部第3位の成績を収め、高く評価されました。成しえた業績は同君のためまね研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところでです。

「栄誉ある賞を頂けたのは、推薦者の岩川隆嗣准教授や共に勉強した仲間、先輩方、家族をはじめとする応援してくださった方々のおかげです。今後も優秀な法律家になるため精進いたします」



※学年はいずれも受賞時

